

けんちく茨城

ARCHITECTURE IBARAKI 2025.7 VOL.116



一般社団法人

茨城県建築士会

<https://i-shikai.com>



携帯サイト

けんちく茨城

2025.7.4 第116号

page	目次
01	令和7年度 通常総会開催される
03	懇親会が開催される
04	建築作品紹介 日立市立中里小中学校
06	建築士会へようこそ!!
	支部活動報告
09	県央支部 「有名建築家による施設見学会 第13弾」
10	筑波支部 「三誠AIR断震システム見学会」
11	鉦田支部 『三支部合同講習会』の報告
12	石岡支部 「折り紙建築」開催 「喜多方市小田付重要伝統的建造物群 保存地区を訪ねて」
	委員会活動報告
14	研修委員会 改正法施行前最後!! 「改正建築物省エネ法・建築基準法講習会」
15	研修委員会 「改正 茨城県建築基準関係資料集とその解説」および 「改正 都市計画法（盛土規制法など）について」講習会
16	情報・広報委員会 木造住宅の耐震リフォーム達人塾 【アドバンストコース】 ～茨城県 耐震改修事業者等向け講習会～
17	会員委員会 第26回会員美術展開催
18	青年委員会 第3回 建築士と学ぶ身近な材料を使った いえづくりワークショップ
19	女性委員会 「愛するイバラキの郷土料理で親ほく会 ～そば打ち体験とけんちんじる作り～」
20	わくわくセミナー 「曳家」の魅力を知る ラブアークセミナー 「ニホンミツバチの飼育入門」
題字	大井川 和彦 茨城県知事
表紙	日立市立中里小中学校 設計・監理 三上建築事務所
発行	令和7年7月4日
次回	令和7年10月3日予定
部数	1,850部
発行	一般社団法人 茨城県建築士会 会長 柴 和伸 〒310-0852 水戸市笠原町978-30 建築会館2F TEL.029-305-0329 FAX.029-305-0330 E-mail ibashikai0329@nifty.com (R7.7.1～)
編集	情報・広報委員会 携帯サイト 相澤 晴夫 梅原 郁夫 児玉 欽司 成田 孝成 軽部 守彦 澤畑 一成 大山 早嗣 武居 公江 浅野祐一郎 石黒 幸喜 塙 万治 山田 一博 谷島 正憲 茂垣 直樹
デザイン・印刷	株式会社 高野高速印刷



携帯サイト



令和7年度 通常総会開催される

令和7年5月30日(金) 午後3時
ホテルレイクビュー水戸
報告：総務・企画委員会

令和7年度の通常総会（第74回）が5月30日（金）ホテルレイクビュー水戸において開催された。開会に先立ち、出席者と委任状提出者を合わせ447名となり、定足数に達していることが司会者より報告され、高槻副会長による開会のことばで通常総会が始まった。最初に令和6年度中に亡くなられた北茨城支部櫻井正信氏他7名に対し黙祷が捧げられた。柴会長からの挨拶。続いて会員増加表彰が贈られ、優良支部として石岡支部、稲敷支部へ、また長年にわたり本会発展にご尽力頂いた鹿島支部高橋文男氏他11名に功労者表彰として記念品を添え表彰状が贈られた。

来賓挨拶・紹介、祝電披露の後、柴会長を議長として議事に入り、令和6年度事業報告と収支決算、令和7年度事業計画（案）と収支予算（案）、理事・監事の欠員に伴う後任者選任、令和8年度会費徴収規程（案）について（会費の値上げ）の6議案を審議し、すべて原案通り全会一致で可決され、最後に高槻副会長の閉会のことばにより閉会となった。

・令和7年度における会員物故者（8名）

□物故者（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

北茨城支部	櫻井 正信	北茨城支部	茅根 信男
ひたちなか支部	坏 浩一	県央支部	北村 廣美
桜川支部	大塚 忍	坂東支部	宮部 誠
北相馬支部	大友 喜広	土浦支部	毛利 一弘

敬称略

・令和7年度 表彰者一覧

(1)会員増加優良支部(2支部)

石岡支部 稲敷支部

(2)功労者表彰(12名)

ひたちなか支部	杉浦 良幸		
鹿島支部	高橋 文男		
県央支部	小貫 弘巳		
県庁支部	菊池 敏美	鈴木 敏夫	
	飯田 義弘	打越 信久	
行方支部	谷田川康浩	久米 雅文	
下妻支部	杉田 昭広	吉川 栄	
筑西支部	四ツ谷明美		



大井川 和彦
茨城県知事



西野 一
茨城県議会議長



白田 信夫
茨城県議会議員
(本会顧問)



伊沢 勝徳
茨城県議会議員
(本会顧問)



木本 信太郎
茨城県議会議員
(本会賛助会員)



石津 健光
茨城県建設業協会会長
(関連団体代表)



議案第5号

理事及び監事の欠員に伴う後任者の選任について

理事及び監事の欠員に伴い、定款第23条の規定により、後任者の選任を行うものである。

なお、今総会において選任された理事・監事の任期は、定款第26条第1項の規定に関わらず前任者の残任期間とする。

理事候補者 中島三博 (県庁支部)
監事候補者 足立信幸 (県庁支部)
(推薦理由)

理事 山田陽一氏 (県庁支部) と、監事 小沼紀男氏 (県庁支部) から辞退の申し出があった。このことにより理事と監事が欠員となるため、その後任理事候補者と後任監事候補者を推薦するものである。

議案第6号

会費等徴収規程 (案) について
一般社団法人茨城県建築士会 定款

第7条 会員は、入会金及び会費を納入しなければならない。
2 入会金及び会費の額は、総会において別に定める。

以下、省略

一般社団法人茨城県建築士会 会費等徴収規程 (案)

本会定款第7条第2項の規定に基づき、会員の入会金及び会費を次のとおり定める。
(入会金)

- 第1条 本会の会員になろうとする者は、入会申込書 (別記様式) に添えて、下記の入会金を 納めなければならない。
(1)正 会 員 2,000円 令和4年度から無料とする (期限は定めず)
(2)準 会 員 1,500円 ()
(3)賛助会員 (1口) 10,000円 (1口以上)

2 準会員から正会員に昇格するときは、入会金を要しない。
(会費)

第2条 本会に納める会員の会費は次のとおりとする。

- (1)正 会 員 月額 (連合会費を含む) 1,000円
(令和8年度から1,300円とする)

- (2)準 会 員 月額 (連合会費を含む) 900円
- (3)賛助会員 年間 (1口) 30,000円 (1口以上)
(令和8年度から40,000円 (1口以上) とする)

以下、省略

附則

- 1. この規程は、昭和46年4月1日より適用する。
昭和50年5月27日 一部改正
昭和52年4月 一部改正
昭和55年5月 一部改正
昭和60年5月 一部改正
平成8年4月 一部改正
(第2条第1号及び第2号改正)
平成11年4月 一部改正
平成15年4月 一部改正
(第2条第3号改正)
- 2. この規程は、平成25年4月1日から施行する。
(第1条追加) (一般社団法人へ移行)
令和4年5月 一部改正
(第1条第1号及び第2号)
令和7年5月30日 一部改正
(第2条1号から第3号まで)



懇親会が開催される

令和7年度通常総会の後、ホテルレイクビュー水戸2階の飛天にて、併催行事として懇親会が開催された。各支部からも多くの会員そして賛助会員が出席し、来賓と合わせ168名が一堂に会した。

柴会長の主催者挨拶、一般社団法人茨城県建築士事務所協会河野正博会長による乾杯の発声で歓談に入った。懇親会では、日頃の仕事や趣味の話を交わし談笑する姿が会場を埋め尽くした。

楽しい時間もあっという間に経過し、大竹代表幹事より中締めが行われ、相澤副会長の閉会のことばにより懇親会の席が閉じられた。



上月 良祐
参議院議員



高橋 靖
水戸市長
(本会顧問)





日立市立中里小中学校

建築作品紹介

設計主旨

里川沿いに弧を描く

日立市中里地区は太平洋沿岸に広がる日立市のなかで、唯一国道349号沿いにあり、市街地からは山を越えては行く。かつて日立製作所の前身である日立鉱山労働者の社宅があったことから日立市に組み入れられたが、今ではその鉱山もなくなり、中里地区は寂れた山里になっている。

中里小中学校はその山間に建つ小学校と中学校が一体となった小さな学校である。1学年の人数は10人程度である。ただし、地域の子どもたちだけではその数にも満たなく、日立市全域から子どもを呼び込み、地域に活力を与えることが企図された。

私たちは、学校が立地するロケーションと小さな学校であることを最大限に活かすことにした。

敷地は小高い山が迫るかつて中里中学校が建っていた場所である。運動場の南側には里川が大きく蛇行しながら流れ、その流れに沿うように桜の古木が立ち並んでいた。校舎はその桜並木に沿って円弧を描いて配置して里川の流れに呼応させ、同時に北側の山裾に広がる中里の集落を囲い込むようなイメージと毎朝子どもたちを迎え入れる表情を創り出すことにした。

校舎からは山々が手の届くほどの距離にある。四季の変化と豊かな自然を感じることができるように構造は木造とした。

子どもを包み込む優しい学校が、地域の中心になる

元々の小学校と中学校は別の学校であった。二つの学校ともに小規模な学校であることを活かして、

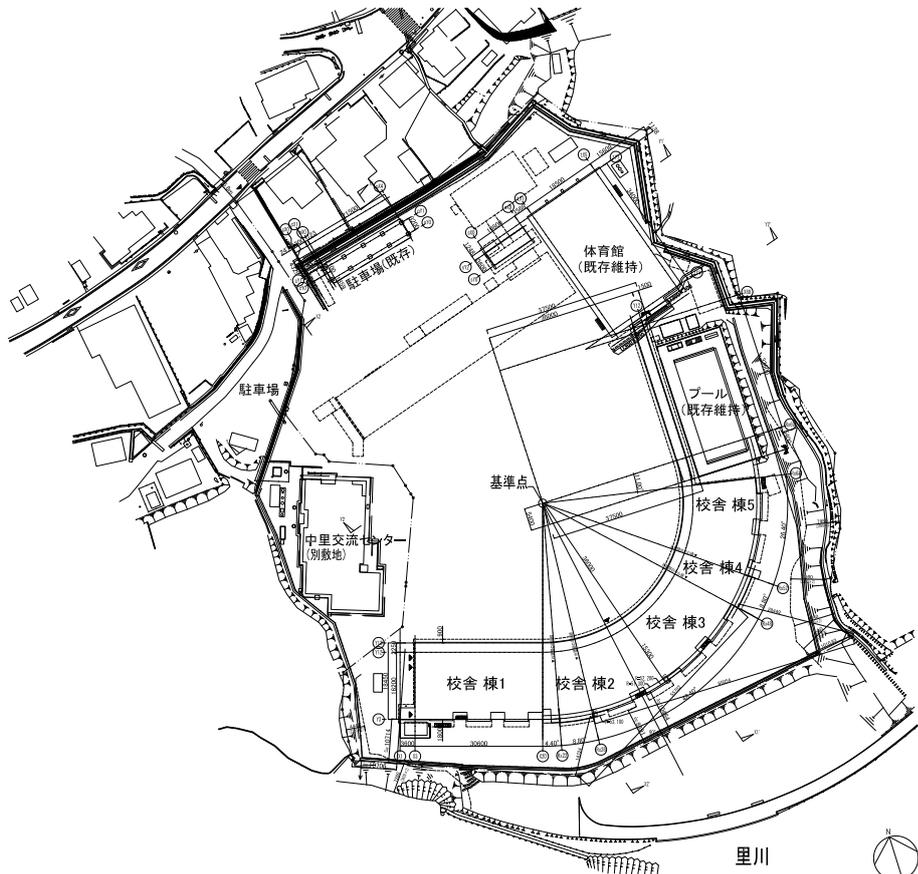
幅広い年齢の人々との密度の高いコミュニケーションを促進していた。また、英語・国語の学習を通して、人間関係の構築や自他を尊重する環境も整えられていた。

そうした状況を踏まえて、学年の独立性と異学年の交流に加えて、地域とも交流が図れるように、1階にはマルチスペースと特別教室をまとめて設け、普通教室は2階に設けることにした。1階は学校全員で集まれる場所であり、他の学年の活動が日常的に感じられるマルチスペースを中心に、演奏コーナー・創作コーナー・実験コーナー・調理コーナーを配置し、それぞれの教室を開放できるようにして、可変性のある空間とした。2階の普通教室は、小学校低学年・中学年・高学年・中学校と4つのまとまりを形成し、それぞれに階段を設けて独立性を高めた。

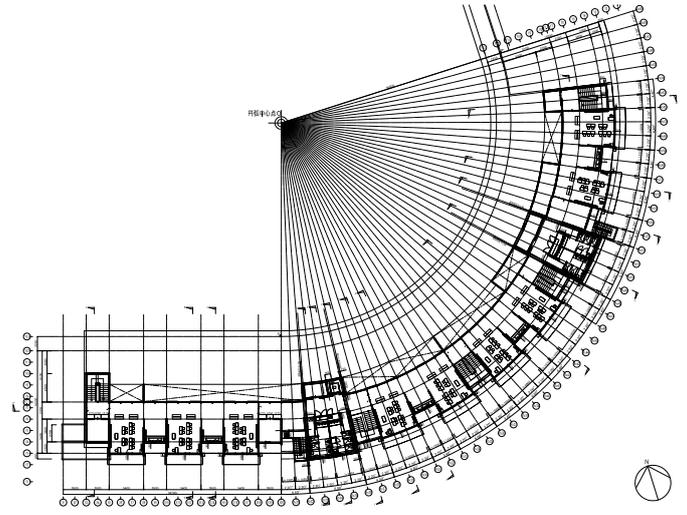
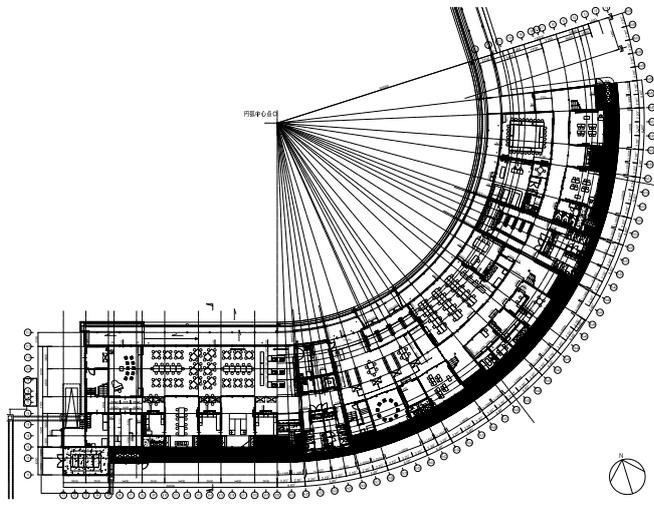
中里の自然を反映する

地域文化を継承しながら、子どもたちが木のぬくもりに包まれて勉強できる空間とするために、構造は無垢材による在来構法木造を採用した。けれども、単なる在来構法のノスタルジーに陥ることなく、新しい合理性を求めた。具体的には、耐震性能と防火性能は鉄筋コンクリート造で負担し、また、集成材の垂木のみで小屋組みを形成して梁や母屋を不要にした。更に、方杖で支持する丸桁を設けて垂木の掛け渡しを小さくし、垂木の部材断面を小さくするなどの工夫を施した。

この学校が中里地区の存続の一助となることを願っている。



- 建築概要 / 日立市中里小中学校
- 所在地：茨城県日立市東河内町1953-1
 - 主要用途：義務教育学校
 - 敷地面積：15,030.17㎡
 - 建築面積：2,069.02㎡
 - 延床面積：2,839.70㎡
 - 階数：地上2階
 - 構造：W造一部RC+S造
 - 竣工年月：2022年3月
(設計期間：平成31年(2019年)4月～令和2年(2020年)3月)
 - 工事期間：令和2年(2020年)10月～令和4年(2022年)3月
 - 建築主：日立市長 小川春樹
 - 設計：三上建築事務所
 - 総括：益子一彦 / 三上建築事務所
 - 建築：三上建築事務所
(担当：小沼悟 田中祐太 堀口徹 齋藤勝弥 高麗夏実*)
 - 構造：坂田涼太郎構造設計事務所
(担当：坂田涼太郎 小野寺舞*)
 - 電気設備：三上建築事務所(担当：松本敬一郎)
 - 機械設備：NASファミリーデザイン室
(担当：那須保) 三村設備設計事務所
(担当：三村武志)
 - 監理建築：三上建築事務所
(担当：富田武俊、大井友彦 高麗夏実*)
 - 構造：三上建築事務所(担当：倉持勝己) 坂田涼太郎構造設計事務所
(担当：坂田涼太郎 小野寺舞)
 - 電気設備：三上建築事務所(担当：松本敬一郎)
 - 機械設備：NASファミリーデザイン室
(担当：那須保)
- *元所員
- 施工：株木建設・多賀土木・茨城日鉦JV
 - 写真：鳥瞰写真 株木建設
 - 他全部：新写真工房 堀内広治



特別教室の拡張や異学年・地域との交流を図るマルチスペース



円弧を描きながら連結する教室と適度な距離感を保つ2階学年ゾーン

Welcome 建築士会へようこそ!!



久米 健一 44歳
支部名：鹿島支部

- ①久米 健一 44歳 鹿島支部
- ②株式会社高正建設
- ③この度、建築士会に入会させて頂きました、久米と申します。
諸先輩方との交流を深め、より多くの勉強の場となればと期待しております。
宜しくお願い致します。
- ④講習会・見学会を通して、自己のスキルアップ
- ⑤建築士会の活動を通し、地域貢献・係る関係者のスキルアップ
- ⑥建築士としてお客様により良い建物を提供出来る建築士を目指したいと思いま
す。

- ①児玉理文 34歳 土浦支部
- ②あや設計一級建築士事務所 代表
- ③京都の宮大工に木造技術を学び、古民家改修や燃え代設計等様々な木造建築に
設計者として携わってきました。お力になれることがあれば大変嬉しく思いま
す。
- ④新たな出会いや情報収集を目的として入会しました。
- ⑤建築士の地位向上や啓蒙活動に期待します。
- ⑥高品質な建築をつくり、その技術や技能を次世代に受け継ぐこと。



児玉 理文 34歳
支部名：土浦支部

三上建築事務所

Kazuhiko Mashiko Architect & MIKAMI Architects

www.mikami.arc.co.jp

[水戸オフィス] 〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-4-36 大町ビル 2階

TEL.029-224-0606 FAX.029-226-3778

[東京オフィス] 〒110-0015 東京都台東区東上野 1-1-1 O&K1.1.1ビル 4階

TEL.03-5817-8184 FAX.03-5817-8194

[九州オフィス] 〒840-0801 佐賀県佐賀市駅前中央 3-14-31 サンフィールド佐賀 401号

TEL.0952-37-7630 FAX.050-3730-7134

- ①氏名・支部 ④入会の目的
- ②勤務先 ⑤建築士会に期待する活動・参加したい活動
- ③自己紹介 ⑥建築士として将来の目標



櫻井 郁美 43歳
支部名：県央支部

- ①櫻井 郁美 43歳 県央支部
- ②S a C R A F T建築設計事務所
- ③この度、建築士会に入会させていただきました櫻井郁美です。夫婦で、住宅リフォームなどを設計・施工で行っています。先輩方から色々とおぼせて頂ければと思います。どうぞよろしくお願ひ致します。
- ④会員の皆様との交流や、さまざまな講習会などを通して知見を深めていけたらと考えています。
- ⑤講習会や現場見学会
- ⑥建築を通して住む人・関わる人が幸せになれる仕事をする事です。

(一社) 茨城県建築士会 入会申込書

士会HP



紹介者会員				年 月 日本受付
年 月 日 入会を申し込みます。				
フリガナ氏名		性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和 年 月 日 平成 年 月 日 生まれ	会報誌送付先	自宅 ・ 勤務先	
現住所	〒 □□□□-□□□□	Eメール		
		T E L		
勤務先名称		Eメール		
勤務先住所	〒 □□□□-□□□□	T E L		
		F A X		
級 別	1 級 ・ 2 級 ・ 木造			
建築士免許登録番号	取得県 □□□□ 県 第 □□□□ 号	登録年月日	年 月 日	
支 部 名	支 部 長 印	会 員 種 別	正会員 ・ 準会員	

顔写真
M=24mm
H=30mm
(会員証への貼付用です)

万が一の 設計ミスに 備えて!!

経営安定化のために、

万が一の賠償請求への備えはできていますか?

近年の建築士法の改正により、

「保険加入等の賠償資力確保が努力義務」となっています。

また「発注者側」が契約の条件に

「保険の加入を求めてくる事例も増加」しています。

2025年4月施行

建築基準法

(4号特例縮小)

建築物省エネ法

の改正にも
対応

約6,500社の建築士事務所が加入する

建築士会
会員のための

建築士賠償責任保険 けんぱい

特長

設計業務等のリスクに備えた建築士会会員のための補償制度です。

建築士の
ミスによる事故を
総合的にカバー



イメージ相違等で
発注者から受ける
訴訟費用も補償対象



情報漏えい補償や
労災補償などの
各種オプションもご用意^(*)

(*) サイバーリスク保険、業務災害総合保険、
請負業者賠償責任保険



日本建築士会
共済補償制度
WEB SITE



補償内容、
お見積りは
こちら

<https://kenchikushikai.aic-agt.co.jp/>





那須塩原市図書館『みるる』

「有名建築家による施設見学会 第13弾」

2025年3月9日に参加17名で「建築セミナーの作品を巡るツアー／第112回伊藤麻理先生と第113回照内創先生の作品」を実施しました。

黒磯駅前に到着し「那須塩原市図書館『みるる』」を見学しました。新しい駅前空間創出のため駅前広場なども一体的に設計を行い、運営者や市民を巻き込んだ仕掛け作りを实践され、町全体の活性化を感じ取ることができました。伊藤先生お薦めのソフトクリームを食した後は、細い角型鋼管で大屋根を支える「那須塩原市まちなか交流センター『くるる』」や、観光客も訪れる街中を散策しました。

玉川村では「たまかわ観光交流施設『森の駅yodge』」で美味しいランチを堪能し、照内創先生の力添えで村役場職員と遠藤支配人に施設を案内していただきました。木造の旧須釜小学校四辻分校をリノベーションした居心地の良い宿泊施設でした。「乙な駅たまかわ（隈研吾）」に立ち寄り、村名産品を購入して微力ながら地域貢献しました。

須賀川市に建つ「須賀川市民交流センター『tette』」は、前月開催したスキルアップセミナー畝森泰行先生の作品です。東日本大震災からの「創造的復興」を目指した建物で、床梁の大断面構造、開放空間の音響コントロール、避難経路を兼ねた屋外テラスなど多くのコンセプトを実現した建物でした。

近年開催した建築セミナーの先生方の作品を巡る事で、理解をより深めることが出来ました。天気にも恵まれて楽しく有意義な一日となりました。



たまかわ観光交流施設『森の駅yodge』



たまかわ観光交流施設『森の駅yodge』



「三誠AIR断震システム見学会」

令和7年3月7日、三誠AIR断震システムつくば展示場見学会を開催しました。

株式会社三誠は鋼管杭事業において広く実績のある企業で、株式会社三誠AIR断震システムはそのグループ企業のひとつです。

建築物は主に耐震、制震、免震によって地震動に対するの抵抗や被害の低減を図りますが、AIR断震システムは、一定震度の地震動を感知した瞬間に圧縮空気の力で建物そのものを浮かせることによって、地盤の揺れを建築物に直接伝わりにくくする機構です。

今回見学させていただいたモデルハウスは木造2階建てで、実際に装置を作動させて浮上のような体感することができました。浮上変位は数センチメートルですが、浮き上がる際の屋内での体感はほぼ無感覚に等しく、実際に導入されたお客様の「地震に気づかなくなる」という感想が、システムの効果を物語っているようでした。間近に迫るとされる大地震への対応策のひとつとして、検討する価値はあるように思いました。



外部装置の説明



浮上を外から見学



『三支部合同講習会』の報告

今回は一年越しとなってしまいましたが、恒例の鹿島支部・行方支部・銚田支部の3支部合同講習会を、令和7年2月27日（木）（13：00～16：00）に行方市内の茨城県鹿行県民センター（通称：レイクエコー）に於いて、申し込み参加者45名で開催致しました。今回は3支部以外や会員以外の方からの申し込みもありました。

講師に茨城県鹿行県民センター建築指導課の、樫村課長と稲葉主任をお迎えし、配布した資料に沿った講習となりました。『最近の建築関係法令の改正等について』と題して



- ① 建築基準法改正（3年目施行）について
- ② 改正建築物省エネ法関係について
- ③ 建設リサイクル法（建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律）について
- ④ 盛土規制法（宅地造成及び特定盛土等規制法）について

以上4項目に分類され行われました。

講習後の質疑回答タイムでは、令和7年4月から施行される法改正に対するの質疑が多くあったことで、終了時間が超過しご迷惑をお掛けしてしまった事を反省して居ります。

この度、開催にあたりご協力を頂いた鹿島支部・行方支部の役員の皆様方に改めて深く感謝申し上げます。



「折り紙建築」開催

令和7年2月15日小美玉市教育委員会が主催する地域学校協働活動事業「おみたんスクール」を共催で行いました。その中で建築士会の紹介、作品展示、建築士のお仕事についての講義、そして折り紙建築作成をしました。折り紙建築とは、紙に切り線、山折り線、谷折り線を入れて折り曲げ、建築物等を立体的に再現する切り紙の一種です。

小学生親子を対象に参加してくれた子どもたちは、目を輝かせて我々の話を聞いてくれたり、休憩も取らずに夢中で折り紙建築の作成をしていました。一方で大人たちはかなり困憊していましたが、最後は時間内に全員完成し、納期、工期を守ることができました。この事業に関係された全ての方々に感謝いたします。





まちなか見学の様子

「喜多方市小田付重要伝統的建造物群 保存地区を訪ねて」

石岡支部では、コロナ禍で中断していた研修見学会を5年ぶりに再開し、令和6年11月10日に、蔵のまちなみとラーメンで有名な喜多方市を見学してきました。喜多方市小田付重要伝統的建造物群保存地区は平成30年に選定され、まちづくりが進行中です。メイン通りは電柱、電線も無くすっきりしていて建物が素敵に見えます。

まちなか見学には、喜多方商工会議所の副会頭星宏一様に案内をしていただきました。見学前には、喜多方の歴史の座学があり、予備知識を頭に入れて街歩きをしました。屋敷内はもちろんのこと、内蔵の内部や改修工事中の建物まで見学させていただきました。景観を良くしようと思う地元愛にあふれた住民の熱い思いを感じました。これからますます素敵な街になっていくものと思います。また、何年か後に訪れてみたいです。



小原醸造（株）前での集合記念



見学前の座学



改正法施行前最後!! 「改正建築物省エネ法・建築基準法講習会」

さる3月14日（金）茨城県市町村会館において、103名の参加者のもと「改正建築物省エネ法・建築基準法」講習会を開催いたしました。

今回の講習会は令和4年6月17日に交付された改正建築物省エネ法及び建築基準法が本年4月に全面施行を迎えるにあたり、具体的な内容・運用方法・申請手法について専門家から講義を受けました。

この度の法改正は久しぶりの大規模なものとなる

ため、真剣な眼差しで講義に聞き入る受講生の姿が数多くみられました。また質疑応答の場では様々な質問が寄せられるなど熱気の帯びた講習会となりました。

今後も法改正や建築界を取り巻く環境の変化など、ニーズを適格にとらえて講習会を企画してまいりますので、今後の講習会にご期待をいただきたく存じます。



有限会社

クボタ建築設計事務所

代表取締役
一級建築士

久保田 吉文

事務所 〒315-0001 石岡市石岡3055-9

TEL 0299-23-9305 FAX 0299-23-9307

E-mail : info@kubota-sekkei.co.jp URL <http://kubota-sekkei.co.jp>



「改正 茨城県建築基準関係資料集とその解説」および 「改正 都市計画法(盛土規制法など)について」講習会

4月25日(金)茨城県市町村会館1階の講堂において、「改正 茨城県建築基準関係資料集とその解説」および「改正 都市計画法(盛土規制法など)について」講習会が開催されました。

受講生は60名で、行政からの参加者も見られました。

講習会は、2025年4月中旬に発刊しました茨城県建築基準関係資料集の改定箇所や改定概要などを茨城県土木部都市局建築指導課建築グループ市村係長よりご説明頂きました。

また、令和7年4月1日に改正されました都市計画法(盛土規制法等)の「みなし許可」等の概要について、茨城県土木部都市局建築指導課宅地グループ亀山技師よりご説明いただきました。

最後に、けんばい(建築士賠償責任補償制度)の概略について、けんばい引受保険会社(幹事)東京海上日動火災保険(株)公務第一部公務第一課小原様よりご説明頂きました。

講義の合間の休憩時には講師に質問するなど、熱心な受講生の姿が見られました。



「木造住宅の耐震リフォーム達人塾 【アドバンストコース】 ～茨城県 耐震改修事業者等向け講習会～」

開催日：3月21日（金）

場所：茨城県水戸合同庁舎2階 大会議室

主催：茨城県

受講者数：70名

（建築士等の技術者、県内各市町村からの行政職員）

講師：東海地方でNPO法人達人塾にて活動を
されている先生方

講習内容：

1. 7つの鉄則と住宅所有者への説明技術
2. 低コスト耐震補強の手引き解説
3. 設計例・施工例から学ぶ改修のポイント
4. 耐震改修先進県の取り組みと事例
5. 精算法、N値法、偏心率の要点と演習

達人塾は単なる耐震診断講習ではなく、「低コスト耐震改修工法」について、木造住宅耐震改修促進に必要な知識・技術・考え方などを総合的に学び、地域の耐震化促進を担うエキスパートの養成を目的としています。

耐震診断はしたけれど、耐震補強が高額になり所有者が工事に踏み切れないケースが多く、いかに所有者の経済的負担を減らして耐震工事を実現するかという課題の解決が求められています。

市町村によっては補助金が申請でき負担を減らすことが出来ますが、当社でも、「3.11を耐えたんだから」とか「もう人生長くないから」など、そんなにお金をかけてもと言われる最終的に耐震補強を断念したケースが有りました。この講習では所有者の経済的負担を減らしながら、効果的な耐震補強を実現するための具体的な方法が紹介されています。これらは実際の現場で適用しやすく、工法に連動した達人T. Sアプリでは、補強計画と同時に改修費用の概算が算出できる点が特に印象的でした。



これまでの現場実績から出した金額なので大幅な違いが無いとのこと。設計者にとっても住宅の所有者にとっても耐震補強を進める上でコスト課題解決に役立つと思いました。

講習を通じて耐震補強の重要性とその実践方法について学ぶことができましたが、講習の中で「耐震補強は人の命を救う」という言葉に感銘を受け、耐震補強工事は単なる改修工事ではなく、実際に有事の際人の命を守るための重要な取り組みなのだと改めて思いました。今後の業務においてもこの考え方を大切にしていきたいと思います。

オンライン受講もありますので、興味のある方はぜひアクセスしてみてください。

達人塾ネット <https://tatsujinjuku.net/index.html>



「第26回 会員美術展開催」

令和7年4月16日（水）～20日（日）の期間、今回初めての場所として新しくなった水戸市民会館の2階スタジオ201、202室にて第26回会員美術展が開催されました。

展示室の場所も、隣には勉強や休憩が出来るコーナーがありガラス越しに展示が見え、京成百貨店との通路からも近く、一般の方にも目に留まり興味をもってくれたのではと思います。

会員の方々には、油彩画、水彩画、ペン画、写真、書などの絵画や掛け軸の作品や、パンフレーザーやスタンドグラスに陶芸などの工芸品などたくさんの作品を出展していただきました。また建築模型や、木工職人さんの木工品や木の羽柄材を使ったアートな作品などの展示も出来ました、建築士会ならではの美術展になったと思います。

以下展示作品は次の通りです。

「日本画・洋画・水彩画」

女性の万灯神輿・上郷祇園祭の祈り	青木 孝二
海	荻津 充宏
ヴェローナ	石川 啓司
ピエンツァ遠望	石川 啓司
Metoro24K	大槻 薫
Jazz man	大槻 薫
線画	大槻 薫
T&small scare crow	大槻美葉実
祝の日	増澤 敬
溪谷	柳下 義男



「写真」

ぼくのあいぼう	石井 裕子
ミセバヤ（花言葉は大切なあなた）	平沼 清美
ミソハギ（花言葉は愛の悲しみ）	平沼 清美
秋彩の水辺	平沼 清美

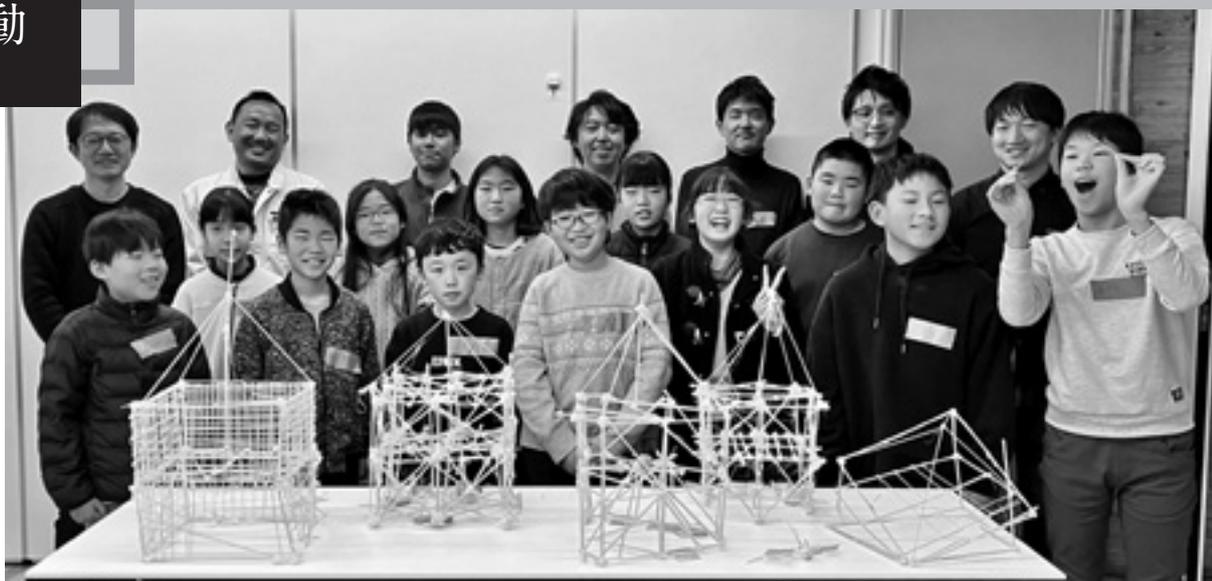
「書」

和歌	青山 孝夫
臨集字聖教序	柳下 文江
山本荷兮の句	柳下 文江

「陶芸・工芸・模型」

パッチワーク（テーブルセンター）	青山 洋子
スタンドグラス ランプ	浅子 明美
パンフレーザー：フラワースタンド	浅子 明美
パンフレーザー：ブローチ	浅子 明美
フォトフレーム	石井 裕子
イエノカケラ	大谷 統一
麻の葉編む手付きかご	桑原 文子
建築模型	小林 亮介
建築模型	李 相鉄
スタンドグラス ミラー	近藤あすか
花器 透明袖模様入り	酒井 順子
土木模型	鈴木 秀一





パスタハウスと一緒に記念撮影

「第3回 建築士と学ぶ身近な材料を使った いえづくりワークショップ」

令和6年度は、東海村歴史と未来の交流館において小学生向けのワークショップを実施し、身近な材料（パスタ）を使って建築の構造を学べる企画として、第1回はタワー、第2回はブリッジの製作を行いました。最終回となる第3回（令和7年1月25日（土））は、地震に強い家の製作に取り組みました。

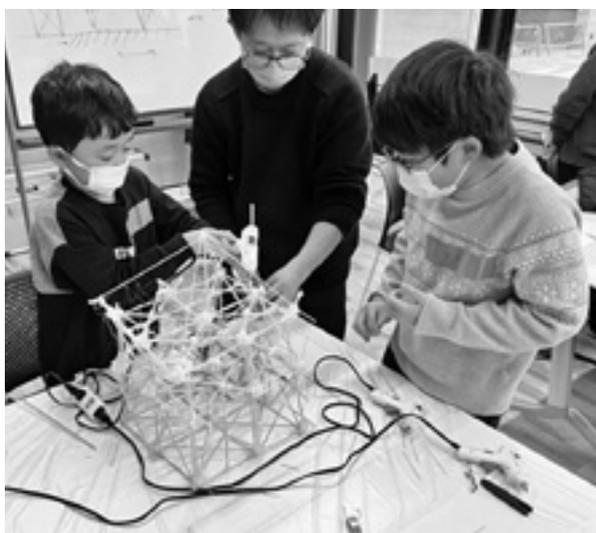
はじめに、青年委員が製作した振動台で、筋交いの無いパスタハウスを揺らす実験を行いました。倒壊の様子を見て、どうしたら丈夫な構造が出来るのか、絵（立面図）を描きながら考えて貰いました。

次に、グループごとに話し合っって補強の方法を決

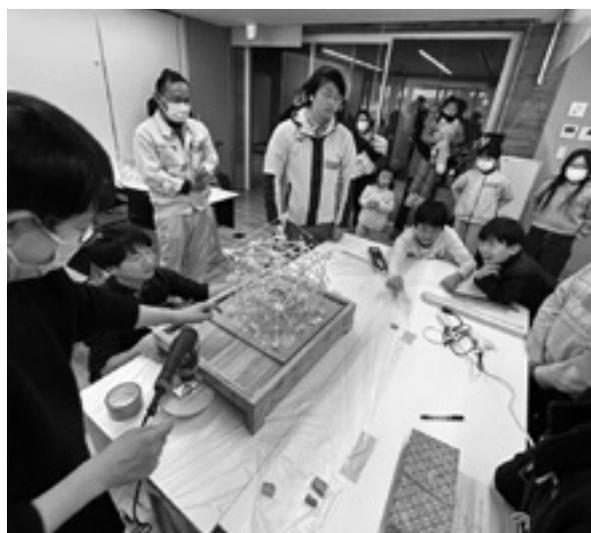
め、パスタハウスの組み立てを協力して行いました。グルーガンを使ってパスタを束ねたり、筋交いや小舞を組んだり、様々な工夫が見られました。

最後に、振動台実験を行い、パスタハウスがどのように揺れに耐え、壊れるのか、一緒に観察しました。特に地震力がかかる箇所や構造的に弱い箇所は破断しましたが、倒壊に至ることはなく、構造の重要性を確認することができました。

今回のワークショップが、子どもたちにとって、いえづくりや建築の構造に関心を抱く機会となれば嬉しいです。



パスタハウスの製作



振動台実験



講師によるデモンストレーション

「愛するイバラキの郷土料理で親ぼく会 ～そば打ち体験とけんちんじる作り～」

■日立支部 近藤 あすか

春のあたたかい陽射しのもと、4月19日（土）水戸市森林公園内大ホールにてそば打ち体験交流会が行われました。講師をお願いしたのは常陸大宮市道の駅「北斗星」でそば打ちをされている小坂田恵理氏。丁寧に優しい先生のデモンストレーションから始まり、そば打ち経験がある方もない方も先生のお話、作業に熱心に見入っていました。

説明を受けた後は、7つのグループに分かれ、それぞれそば粉に加水しながら固まりにまとめ、ひたすらこねていきます。その後麺棒で生地を延ばし、折りたたんでそば切り包丁でカット。私はそば打ち

未経験でしたので、すべての作業が新鮮で、そばを切る際はイメージでそば職人の手元を思い出しながら楽しく体験することが出来ました。

そばをカットした後は大量に沸かしたお湯でうどん茹でていきます。前半に調理済みのけんちん汁も温めて、皆さんと講師を囲んで大変美味しく頂きました。そば打ちだけでなく、片付けなどの作業を協力して行うことで、皆さんとの距離がさらに縮まったように思いました。

自分たちで作ったそばの格別な風味にすっかり魅せられてしまいましたので、そば打ちにもまた挑戦したいと思います。



参加者のみなさん



そば打ち実践中



現場写真や図面を用いた解説

「曳家」の魅力を知る～講師:小菅組 小菅真幸 氏～

■土浦支部 江ヶ崎 雅代

筑波支部会員の小菅真幸氏に、「曳家」について講演いただきました。小菅氏は小菅組の六代目で、使う道具や工法、曳家を行う目的などが、時代とともに少しずつ変化してきているものの、継承されてきた技術や経験の素晴らしさを知る、貴重な機会となりました。建物を解体せずに、建物を移動するという「曳家」・・・その種類や工法などを、実際の動画や現場写真を用いて、詳しくそしてわかりやすく解説くださりました。ベタ基礎が増えてきたので、基礎ごと持ち上げて移動する工法があるということや、常総の水害後、再び浸水しないよう、建物を持ち上げて、基礎を高基礎にしたケースがある、そして住みながらも曳家工事が可能なケースもあるなど、実際お仕事をされているからこそそのリアルな情報が満載で、とても興味深い内容でした。建物の形



動画による解説が非常にわかりやすかったです

状や、移動する方向と角度に応じて、経験により得られた感覚を頼りに対応をしていく職人技は、後世に残していくべき建築技術だと思いました。ありがとうございました。



小菅真幸氏による講演



巣箱見学

「ニホンミツバチの飼育入門」

■ひたちなか支部 桑原 文子

いらばきフラワーパークの素敵なアトリエをお借りして在来種のニホンミツバチについて話を伺いました。講師は一級建築士であり現在は養蜂家として活動している日和庵の久保田満雄先生。

会員の他一般の方も多数ご参加いただき、盛況に始まりました。

まずは座学にて。ニホンとセイヨウミツバチの見分け方。知能があり飼い主を認識することができる。冬と夏では性格が変わる。色々な花の蜜を長期間少しずつ集めるので、とても濃くなる。必要な量しか集めない奥ゆかしさがある。知らなかった話を聞くことが出来ました。

さらに楽しみにしていたニホンとセイヨウミツバチの蜂蜜の試食。味の違いにあちこちで「違う！」

という声が聞こえてきました。

最後は実際に園内に設置してある巣箱を見学しました。

限られた時間内では語りつくせない奥が深いニホンミツバチの世界。ということで第二弾を開催することが決まりました。沢山の方に参加していただき、環境について見つめ直すきっかけにいただければと思います。



ニホンミツバチの巣



座学の様子



有限会社 アップル建築設計事務所

Hiroyuki Suzuki

代表取締役
一級建築士 鈴木 啓之

〒315-0052 茨城県かすみがうら市下稲吉3211-45

TEL.0299-59-6345 FAX.0299-59-6347

E-mail : apple-ac@jcom.home.ne.jp Home-Page <http://apple-architects.jp/>

初心者からの乗馬
東海馬事苑

安心とくつろぎをお届けする

有限会社 亜細亜警備保障

〈施設、イベント、駐車場、交通誘導〉

代表取締役
尾崎 嗣 朗

本 社 那珂郡東海村舟石川845-4

〒319-1111 TEL 029-282-7056 (代)

FAX 029-282-7017

E-mail:asia_keibi-bajien@eos.ocn.ne.jp

■企画・設計・監理



株式会社 戸頃建築設計事務所

代表取締役 小川 憲一

〒310-0043 水戸市松が丘1-2-23

TEL : 029-226-4869 (代) FAX : 029-226-4894

E-mail : tokoro@mbb.nifty.com



大子町交流拠点施設「B.B.D」



MITSUO YOKOSUKA
ARCHITECTURAL CO., LTD.

(株)横須賀満夫建築設計事務所

事務所 / 茨城県水戸市南町2-1-187-キビル 〒310-0021
TEL 029(225)4353 FAX 029(225)1794
東京支店 / 東京都杉並区梅里1-3-12 テラスキョウ101号室
〒166-0011 TEL・FAX 03(5378)6617
つくば営業所 / 茨城県つくば市高見原3-1-237メニエー高見原202
〒300-1252 TEL 029(896)3978 FAX 029(896)3968
URL <http://www.design-yokosuka.co.jp>
E-mail yokosuka-mitsuo@bea.hi-ho.ne.jp

豊かな技術で未来を創造する

●パイル製品 (FC 強度 123N)

- 摩擦杭 (BF) Hi-SC、SC、DAM、SL、PHC、MS-ST、TP ジョイント (無溶接杭)
Hybrid ニーディング工法 (施工品質管理強化高支持力杭工法 $\alpha=336 \sim 880$)
- 特認工法 Hybrid ニーディング工法II (施工品質管理強化高支持力杭工法 $\alpha=350$)

SUPER ニーディング工法 (高支持力工法 $\alpha=425 \cdot 600$)、SUPERDANK 工法 (中掘高支持力工法 $\alpha=425$)、ニーディング、NEW ニーディング、ST ニーディング工法、DANK、STJ 工法 (中掘拡大根固め工法)、BFK 工法 (異形摩擦杭確定工法)、Lev-Pile 構法



三谷セキサン株式会社

東京本社 〒130-0012 東京都墨田区太平 4-1-3 オリナスタワー 10F
福井本社 〒910-0857 福井県福井市豊島 1丁目3-1(三谷ビル)

☎(03) 6284-1388 FAX (03) 6284-1389
☎(0776) 20-3333 (代) FAX (0776) 20-3334

事業所：福井 (福井・金沢・七尾・新潟)、東京 (東京・埼玉・千葉・横浜・仙台)、札幌、大阪 (大阪・京滋)、名古屋 (名古屋・静岡)、中四国 (岡山・愛媛・広島)、九州 (福岡・熊本・佐賀・鹿児島・沖縄)

<http://www.m-sekisan.co.jp/>

営業品目

(貯留式かんたん測溝)

コンクリート二次製品全般

函渠型側溝フリードレーン
大型積ブロック
浮上防止型グレーチング

公園資材

防災用かまど
防災用ベンチ
防災用シェルター
インターロッキングブロック
遊具一式

下水道用製品

耐震性スーパー BOX カルバート
アーチカルバート
ヒューム管カーブ用推進管
マンホール鉄蓋

建築資材

PHC パイル
地盤改良材

地下につくる水空間。

プラスチック貯留材

クロスウェーブ

クロスウェーブは雨水の
有効利用を提案します。

流出抑制

開発事業にともなう流出抑制調整池
区画整理や造成などの開発事業にともない、地下調整池の施工に活用し、雨水をその土地内で流出抑制します。

雨水利用

生活用水・工業用水・農業用水
生活雑水としては庭への散水や洗車用の水、トイレ洗浄水に、工業用水としては工場での利水に、農業用水としては作物への散水をはじめ洗浄水にも利用できます。

防火用水

防火水槽・防火備蓄用水
貯水量 40 トンクラスの防火水槽から、貯水量 1 万 m³クラスの大きな施設にも十分対応でき、震災時の緊急生活用水や消火用水としても備蓄できます。



汚染土の仮置場処理対策製品
土木建築資材の総合商社

株式会社 建友

代表取締役社長 根本 学

本社 茨城県水戸市吉沢町 333-4 電話 (029) 247-8405 (代表) FAX (029) 248-0155
支店 茨城県鉾田市造谷 1529-99 電話 (0291) 37-1335 FAX (0291) 37-1335

E-mail:office@k-kenyu.co.jp

2018~2025



SHIBA
ARCHITECT
OFFICE

since 1967

株式会社 柴建築設計事務所

水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 7 階
TEL 029 (227) 0222
FAX 029 (231) 0960

<http://www.shiba-arc.co.jp/>



一般社団法人
茨城県建築士会
<https://i-shikai.com>



携帯サイト